

# 「戦争をする国」日本と 反戦・護憲運動のこれから

## ～「抑止力神話」「同盟神話」の危うさ～

2014年7月1日の集団的自衛権を認める閣議決定から10年が経ちました。その後、15年9月の安保法制の強行採択を契機に、戦争できる国づくりが急激に進められました。そして、22年12月16日、安保関連3文書が閣議決定されて、私たちの国は、国是の専守防衛戦略まで捨て去り、他国内への攻撃能力の保有をも認める「戦争をする国」に変貌しています。

今年も、統合作戦司令部創設、武器の共同開発・生産・輸出の「死の商人国家」化、秘密保護法の経済分野・民間への拡大、国の地方自治体への指示権の導入、戦時の食糧確保法の制定など、日本社会全体を戦争に導く動きが着々と進んでいます。

この危機の時代を冷静に分析し、個々の戦争政策や立法の問題にとどまることなく、戦争する国づくりの全体像を学習し、私たち市民が何をすべきか、何ができるかを考えたいと思い、この講演会を企画しました。

講師の額厚さんには、「戦争する国」を批判する視座、「戦争をしない国」への原点に立ち戻らせるために取り組むべき課題を、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・ガザ戦争にも触れながら語っていただきます。

みなさま、ぜひご参加ください。

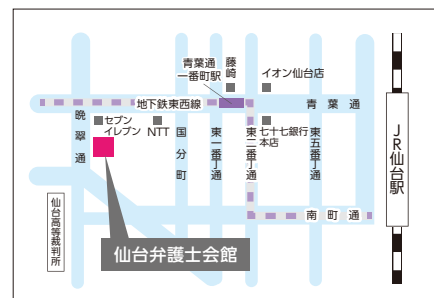


こう けつ あつし  
講師 額厚さん

(1951年生まれ。山口大学名誉教授・全国革新懇代表世話人。専門は日本近現代政治軍事史・安全保障論)

2024年 **7.22** 月 **18:00**  
(開場 17:45)  
仙台弁護士会館4階 (仙台市青葉区一番町2丁目9-18)

参加費 無料



主催／自由法曹団宮城県支部、青年法律家協会宮城支部、宮城憲法会議、みやぎ弁護士九条の会

●お問い合わせ先／仙台中央法律事務所 (弁護士 宇部雄介) 電話.022-227-2291 FAX.022-227-2294